

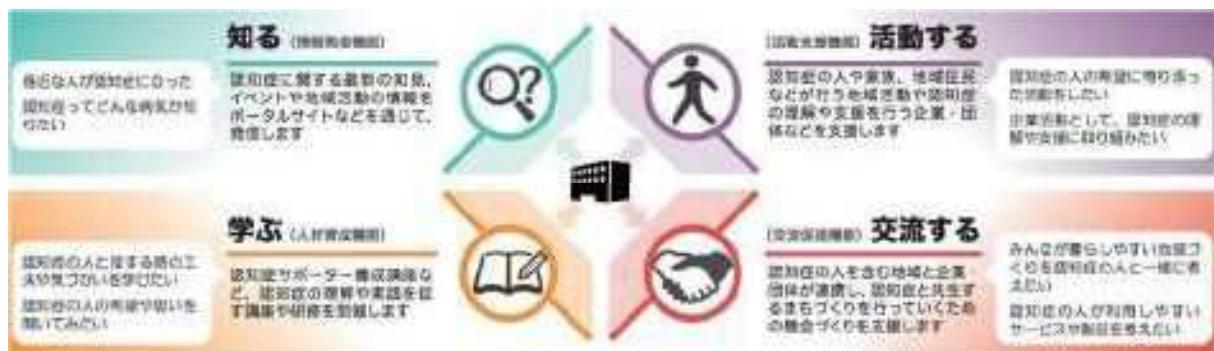
⑫ 認知症の人や家族を支えたい

認知症は、誰もが何らかのかたちで関わる可能性のある身近な病気です。今後、たとえ認知症になっても、認知症と共に自分らしく安心して暮らし続けることができる地域づくりが重要です。そのためには、地域の皆さん之力が必要不可欠です。

以下では、認知症について正しく理解したり、認知症の方やそのご家族を支えるための活動をしたい方向けの講座や仕組み、関係者が連携して認知症の方を支えるツールについてご紹介します。各事業・サービスの利用には要件等がありますので、詳細は各問合せ先にお問い合わせください。

● さいたま市認知症フレンドリーまちづくりセンター

認知症の人が住み慣れた場所で自分らしく安心して生きることができるまちづくりの拠点施設です。認知症に関連した地域や企業の様々な取組、情報を集約し、情報発信や地域、企業の活動と交流支援を行う相談窓口です。



●開所時間

月～金 9:30～16:00

●問い合わせ先

TEL : 048-816-4711

FAX : 048-853-5010

E-mail : friendly@saitama-orange.com

●住所

さいたま市中央区本町東4-7-20
(与野本町デイサービスセンター内)

知りたい情報はポータルサイトから



認知症に関連した地域活動や企業の取組、講座、イベント等の最新情報を発信、掲載しています。

URL : <https://www.saitama-orange.com/>

● 認知症サポーターになろう



さいたま市では、市内在住、在学、在勤の方を対象として、認知症の基本的な知識を正しく理解していただき、認知症の方とそのご家族を支えるサポーターとしてできることを学んでいただく「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

認知症サポーター養成講座

講座は、標準テキストに基づいて90分程度で行われます。受講した方には「認知症サポーター」の証である「オレンジリング」を交付しています。

認知症サポーターは何か特別なことをする人ではありません。認知症の方やその家族を温かく見守る応援者です。認知症についてよく知りたい、街なかで困っている認知症の人を手助けしたい、という方ならどなたでも受講できます。



認知症サポーターの証「オレンジリング」

◆受講の申込先

- | | | |
|----------|---|------------|
| ①団体で受講希望 | 各区役所高齢介護課 | 21p |
| ②個人で受講希望 | さいたま市認知症疾患医療センター（埼玉精神神経センター）
さいたま市認知症フレンドリーまちづくりセンター | 25p
62p |

◆受講費用

無料

● おれんじパートナーになろう

さいたま市では、認知症になっても安心して暮らし続けることができる地域づくりを目的として、認知症サポーターからステップアップし、地域で認知症の方とその家族を支える活動に取り組む「おれんじパートナー」を養成しています。

認知症サポーターステップアップ講座



「認知症サポーターにはなったけれど、もっと知識を深めて、認知症の人やその家族を支えたい！」という方のために、さいたま市では、「認知症サポーター ステップアップ講座」を開催しています。

認知症サポーターステップアップ講座を修了した方が、「おれんじパートナー」として認定されます。

- ◆対象者 市内に居住する認知症サポーター
- ◆受講費用 無料
- ◆講座内容 認知症の理解を深める、認知症の発症リスクを減らす、サポーターの活動事例等
※講座は年2回実施予定
- ◆修了証 修了者には、修了の証として「おれんじパートナー証」を交付
- ◆問合せ先 さいたま市認知症フレンドリーまちづくりセンター（☎048-816-4711）

おれんじパートナーとは



認知症サポーターが、それぞれの地域で、自分のできる範囲で認知症の方とその家族を見守り、支える応援者であるのに対し、おれんじパートナーは、認知症の方とその家族に寄り添い、ともに歩む伴走者として、認知症になっても安心して暮らし続けることができる地域づくりに取り組みます。

サポーターからパートナーへ

認知症サポーター養成講座

認知症サポーター ステップアップ講座

ボランティア活動

認知症サポーター

地域で、自分のできる範囲で認知症の人とその家族を見守り、支える応援者

おれんじパートナー

認知症の人とその家族に寄り添い、ともに歩む伴走者として、地域づくりに取り組む

チームおれんじなど

チームおれんじや認知症カフェや介護者サロン、認知症サポーター養成講座の運営など



●おれんじパートナー証

「おれんじパートナー」に交付される証明証です。裏面には、おれんじパートナーの宣言が記載されています。

〈おれんじパートナーの宣言〉

私たちは、認知症の方とそのご家族に寄り添い、ともに歩むパートナーとして、認知症になんでも安心して暮らし続けることができる地域づくりに取り組みます。

将来的にはこんな活動もしてみましょう

おれんじパートナーには、将来的にはこんな活動も期待されています。

他のおれんじパートナーや認知症サポーターと一緒に、できることから少しづつ取り組んでみましょう。

地域の見守り活動

おれんじパートナーによる地域のゆるやかな見守り活動。
気になる人への声かけ、地域包括支援センターへの情報提供。

認知症カフェの立ち上げ

複数人のおれんじパートナーで自主的に認知症カフェを開催。

集いへの認知症の人との同行参加

チームおれんじや認知症カフェ、高齢者サロン等の集いに、認知症の人本人に付き添って参加する。

施設や高齢者サロン等での傾聴活動

傾聴のスキルを身につけ、認知症の方やその家族の傾聴をする。

各種認知症イベントへの参加、啓発活動

世界アルツハイマー記念行事等の講演会や認知症の啓発活動に参加する。

【活動中のおれんじパートナーの声】

- ・自分たちの住む地域でオレンジカフェを開催したいと思い、オレンジカフェに当初から携わってきた。介護している人が気楽に話せる場所をつくっていきたい。また、外に出てきていない方をどう誘うかを考えていきたい。
- ・仕事を辞めて外出の機会が減っているので、サロンやカフェで傾聴などの活動をするのは、自分にとっても良い機会となっている。
- ・人の役に立てればと思い、おれんじパートナーの活動を始めたが、自分のためになっていると感じている。
- ・誰にでも訪れる可能性がある認知症。自分たちでオレンジカフェの企画を立て、参加者が喜んだことや改善すべきことについて話し合うことで、自分たちで作りあげる喜びを感じ、生きがいになっている。認知症の皆さんを地域で支える輪を広げる楽しさがある。



● チームオレンジで活動しよう

さいたま市では、認知症と共生する社会の実現に向けたまちづくりとして、「さいたま市チームオレンジ」の取組を進めています。

「さいたま市チームオレンジ」は、

- ①チームおれんじ（認知症の人とともに地域で活動を行う）
②認知症フレンドリー企業・団体（認知症への理解と支援等の活動を実践する）
の二つの取組の柱から構成されます。



①チームおれんじ

- チームおれんじは、認知症本人の「声」を起点にして、認知症本人とともに一緒に「やってみたいこと」を考え、実践する地域活動のことをいいます。
- チームおれんじの活動は、認知症本人の希望や思いにあわせ、多様な形態が考えられます。
- チームおれんじの活動を通じて、認知症の人本人が主体的に地域に関わることが、自分らしく安心して暮らし続ける地域づくりにつながります。



②認知症フレンドリー企業・団体

認知症フレンドリー企業・団体とは、認知症への理解及び支援、認知症の人にが利用しやすいサービス・製品開発、環境整備などを実践する企業・団体等のことと言います。

活動例

1 認知症サポート等の「人材育成」

従業員などに対し認知症についての正しい理解を促し、認知症本人の立場に立った接客・サービスの提供につなげます。

取組の例

- 認知症サポーター養成講座などの研修の実施
- キャラバンサイト（認知症サポーター養成講座の講師）の育成
- 介護サービス事業者が従事者に同じ対応する認知症に関する人材教育は対象になりません。

2 チームおれんじなどの「地域連携」

認知症に関する地域活動などを支援し、地域との連携を深めます

取組の例

- チームおれんじ、認知症カフェなどの運営への支援・参加
- 地域ひらあットワークへの参画、もの忘れ練習の実施
- 介護予防事業との連携・実績

3 認知症をサポートする「社内制度」

企業・団体内において、認知症本人が安心して穏やかに働き続ける社内制度を設けることで、企業に対する信頼性が向上します。

取組の例

- 認知症環境・内容、勤務時間など、生計・進歩状態や本人の見極めができるだけ考慮した配属
- 認知症を含めた「さまざまな介護と仕事の両立」「治療と仕事の両立」の取扱い

4 認知症の人が利用しやすい「サービス・環境整備」

認知症の人の意見を取り入れたサービス・製品の開発により、潜在的な利用者・顧客のニーズを把握することができる

取組の例

- 建築のレイアウトや動線などの使い勝手、用具類の開発するなどハード面の整備
- 楽器演奏やお絵描き等が得意なスローレジなどソフト面の取組
- サービス・製品等の開発組織から認知症の人が参画することで、認知症の人やニーズを踏まえた利用しやすいサービス・製品を販売・提供している取組

チーム・企業の詳しい情報や活動方法はこちちら

●さいたま市チームオレンジWEB



<https://www.saitama-orange.com/>

チームや企業の取組、認知症に関するイベントなどの最新情報を掲載、発信しています。

●さいたま市チームオレンジガイドブック



<https://www.saitama-orange.com/effort>

チーム、企業として登録する際の登録方法や活動方法について掲載したガイドブック。